

# 福島高教組に加入するメリット

(行事などへの参加を通して、人とのつながりが増えます。教員人生の大きな財産です。)

- ① **個人では伝えられない学校現場の声を、県教委・県議会議員・各省庁・国会議員に届けられます。**  
もっとうしたら良くなるのに、県教委に伝えたいことがあるなど、そういった声を反映できます。
- ② **組合員だからこそ、人との関わりが広がり、つながりも深まります。人脈が広がります。**  
勤務している学校には、福島高教組に所属している組合員が構成する分会があります。同じ組合員と  
いうだけで親近感が生まれ、悩み事も気軽に相談できるようになります。  
非組合員なら、今まで回ってきた学校、部活動、携わる団体でしか交流がありません。組合員になれば、普通教科・工業・商業・農業など学校を越えた先生方と交流を持つことができます。  
部活動の練習試合等で悩んでいるときも、組合員同士なら交流を持つことができます。また、他県の組合員の先生方とも交流を持つことができます。
- ③ **現場で起こっている問題を解決できます。**  
他校ではしっかり運用されていることが、自分の学校では運用されていない……。振替休日時の部活動指導時の手当支給、職員会議延長時の時間調整、登校指導等の勤務時間の割り振り変更など。まずは、所属の校長先生に勤務時間外や休憩時間に要請ができます。要請をしたからといって自分の評価が下がることは一切ありません。(そういったことが万が一あった場合には即座に役員が対応させていただきます。) 校長要請を通して変わらないことがあれば、執行部役員を通して県教育委員会に意見を伝えることができます。
- ④ **組合員同士の交流の場を持つことができます。**  
現在はコロナ禍で難しい現状にありますが、今までは支部レク(県北・県中・県南・会津・いわき・相双)や分会のレク、本部主催の行事を通して様々な交流の場がありました。コロナが収束すればまた活気ある活動が再開されます。福島高教組に加入することによって様々な先生方と出会い、様々な情報を得ることができます。
- ⑤ **他校の状況等を把握できる。**  
福島高教組ではアンケート実施を積極的に行っております。  
例：コロナ禍における修学旅行・文化祭・球技大会の実施状況、スクールサポートスタッフの業務内容など こういった内容を全組合員で共有できる仕組みができています。
- ⑥ **人事異動に関して要請ができる。**  
県教委は計画人事と断言していますが、福島高教組では、先生方の人事異動希望が少しでも叶うように、組合員の人事希望を伝えるために県教委人事要請、県校長協会要請、支部校長協会要請を行っております。

人事要請の方法（個人情報の管理に最新の注意を払い、行っております）

- ①10月中旬に福島高教組専用の人事調書に記入し、本部にデータ提出。本部で一覧作成（㊟扱い）  
（excel にパスワードをかけ、データを forms で収集するため、安全です）
- ②11月上旬の支部長会で、一覧表を1名ずつ確認し、支部校長要請内容を検討する。
- ③11月下旬に各支部長が支部校長会会長に出向き、1人ずつ内容を説明します。  
※例年、校長先生は丁寧に話を聞いてくれます。
- ④12月上旬に県教委に出向き、人事要請を行います。ここでは、人事全体に関わる要請を行います。  
また、委員長・書記長で県教委の幹部に個別の要請を行います。

人事希望達成率は68.5%でしたが、達成した組合員は第1希望から第3希望の学校に異動、また永年を越えた残留をすることができました。現在、「群」からでしか選択できない時代において福島高教組の取り組みは有益なものであります。

（注意事項：人事異動は管理運営事項なので、あくまで要請しかできません。組合に加入すれば100%ご自身の人事異動が叶うわけではありませんのでご留意願います。）

#### ⑦ 教育情勢等の情報が手に入る

毎週火曜日配信の福島高教組メール情報、福島高教組組合員専用 web ページ、福島高教組 teams より教育に関する様々な最新情報が手に入ります。

#### ⑧ ICT 授業事例閲覧・質問、悩み相談ができる。

今年度（2021年度）より導入した teams により、ICT 授業事例閲覧・質問、悩み相談ができます。まだ、導入段階で活発な動きはありませんが、徐々に進めています。

#### ⑨ 様々な福利厚生が付帯する

こくみん共済 coop のセット共済、およびろうきん口座が出資金なしで作成できます。

詳しい内容は、福島高教組 web サイトの左メニュー「福島高教組について」よりご覧いただけます。

### お願い

昨今、組合離れが続き、どの組織も加入率が低下しており、福島高教組でも同様の状況にあります。福島高教組で勝ち取った権利は、全ての教職員に平等に与えられます。「組合に入っていないくても何の支障もないから入らなくても別にいい」「組合費もかかり会議などもあるから面倒だ」と思っている方もいらっしゃるかもしれません。もしも組合がなくなったらどうなるのか、と考えることはあるでしょうか。組合がなくなったならば、県教委や国に現場の声を届けることが不可能になります。この組合を維持するためにも、福島高教組を応援していただける方がぜひとも必要です。現在は50歳以上の多くの組合員に支えられています。このままの加入状況だと、10年後の組合活動が大変危ぶまれる状況にあります。どうか、趣旨をご理解いただき前向きにご加入を考えていただけないでしょうか。労働者は、労働組合に加入できる権利を持っています。その権利を是非行使してみませんか。福島高教組は現場の先生方の味方です。今後ともよろしくお願いたします。